

# 敬老のお祝いコンサート

2024年9月28日(土) 14:00~14:30

御出演:麻生総合高校合唱部、Celebration

爽やかな秋風が吹くこの日、当院に御入院されている患者様の敬老をお祝いし、4年振りに当院1階ロビーにてコンサートを開催いたしました。本来でしたら多くの方をお招きしたいのですが、感染防止対策のため、今回は今年100歳以上、99歳(白寿)、そして90歳(卒寿)になりました患者様を対象にお楽しみいただくこととなりました。



御出演は、当院にて開校当初からお歌いくださっている“麻生総合高校合唱部”の皆様と、その卒業生を中心とした合唱団“Celebration(セレブレーション)”の皆様です。麻生総合高校合唱部の皆様は、コロナウイルス感染防止対策のため御来院を伴うボランティア活動を休止しておりました間も、毎年録画撮影にて患者様方へ歌声を届けてくださっていました。鑑賞会を行う度、患者様方からは「とっても綺麗なハーモニーね。でもきっと、実際の歌声はもっと素敵でしょうね。」とのお言葉もいただいております。この日、長く心待ちにしていた生演奏を、皆様にお聴きいただくことができました。

『里の秋』の演奏では、透明感のある美しい歌声に思わず口ずさむ患者様もいらっしゃり、一緒に御鑑賞されていたご家族様もそのご様子に嬉しそうに涙を浮かべられていました。『ふるさとの四季』はお耳馴染みの唱歌がメドレーになっており、美しい旋律のピアノ伴奏も相まって、音楽に合わせて心地良さそうに身体を揺らしたり、指揮者のように指を動かしたりする方もいらっしゃいました。



『埴生の宿』では、目を閉じながらも一緒にお歌いになれる方や、ご家族様と手を握り合いお聞きになる方もおられ、そのご様子にスタッフも胸が熱くなりました。全てのプログラムが演奏されました後は、当院の患者様で、最年長の方（今年106歳を迎えられました！）よりご出演の代表者様へ感謝状をお渡しし、患者様方や院内スタッフから会場を満たす程の大きな拍手が沸き起こりました。感動冷めやらぬ中、アンコール曲『道化師のソネット』も演奏くださり、歌い手の皆様とご鑑賞をされる皆様が音楽を通して双方に感動を共有されていることを強く感じる、豊かなひとときとなりました。

御出演者の皆様からは、『涙を流しながら一緒に歌ってくださる患者様のご様子に、私たちの歌が届いているんだなと感じた。コンクールにはこのような場でよりよい演奏をするために、(研鑽の意味で)出場していきたい。』『患者様のお顔を見ながら歌うことは初めてだった。人はいつどうなるか分からない。言葉でなくても音楽の力で通じ合える部分を感じながら歌った。』等、温かな想いを歌声に乗せてくださったことをご感想としてお聞かせいただきました。過去に当院にて生演奏をされた方、この度初めて御出演くださった方も、再び当院に歌声を届けていただけましたこと、感謝の想いに溢れました。

患者様お一人お一人が貴重な人生の時間をお過ごしになる中で、私共職員がその日々に関わらせていただき、長寿節目のお祝いをお迎えになられたことを嬉しく思います。また来年に向けて準備を進めて参ります。



引き続き当院に御入院されている患者様方にも、通常のグループレクリエーション・個別レクリエーションの際に、録画映像にてコンサートをお楽しみいただきます♪

## ～プログラム～

① 里の秋

② ふるさとの四季

(故郷～春の小川～朧月夜～夏は来ぬ～紅葉～冬景色)

③ 埴生の宿

④ 道化師のソネット※アンコール演奏



## 麻生総合高校合唱部

今年度は3年生が2人。先日も2人で演奏会を行いました。

今回の敬老のお祝いコンサートのように、OGの力を借りながら活動中。

5月には麻生区の「があでん・ららら」さんで演奏会も行いました。

今後も地域での演奏活動を継続する予定です。

昨年度から今年度にかけて、神奈川県合唱コンクールで『銅賞』、東京のコンテストで『優秀賞』、声楽コンクールで二年連続『全国出場』を果たしました。

## CelebratioN(セレブレーション)

CelebratioNは川崎市を中心に活動する女声合唱団です。

地域での演奏を主に活動しています。

直近ですと、5月に麻生区にある「があでん・ららら」さんのハーブ祭りにお招きいただき、演奏いたしました。

昨年11月には国際声楽コンクール東京アンサンブル部門にて『奨励賞』を受賞しています。

麻生総合高校合唱部の卒業生も多く在籍している団ですので、川崎田園都市病院での演奏は団員一同楽しみにしています。